しあわせ信州移動知事室(南信州地域)の実施結果について

コンテンツ名	みんなの居場所「いちごサロン」の運営に参画しているシニアとの懇談
日 時	平成 30 年 10 月 24 日 (水) 9:10~10:05
場所	まつかわ・すたいるプラザ「ぷらっと」
参 加 者	長野県シニア大生・卒業生のボランティア 5名 松川町社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 長野県長寿社会開発センター シニア活動推進コーディネーター サロン利用者 2名
目 的	松川町のみんなの居場所「いちごサロン」の運営に参画し、社会参加を実践しているシニアの皆さんと懇談し、人生二毛作社会推進の取組を把握する。
主 な 内 容	「いちごサロン」の概要・経過の紹介 シニア世代の学びと社会参加について懇談
実施 結果	1 「いちごサロン」の概要・経過の紹介 町民の要望を踏まえ、誰もが集まれるサロン を開設したいという松川町社協の呼びかけに、 シニア世代のボランティアが集まり、グループ ワークや準備会議でのアイデア出し、内容の検 討を経て、本年6月15日にオープンしたとの 説明を受けました。 2 懇 談 ●シニアボランティアからの発言 ・地域での世代間交流が自然にできていて、自分も楽しんでいる。 ・頼まれた仕事ではなく、自分のできることを自分で考えてやれるのが楽しい。 ・シニア大学出身者同士という安心感から、よいチームワークで活動している。 ・シニアのネットワークを広げ、サロン利用者が増えるよう工夫していきたい。 ●知事からの発言 ・子ども、お年寄り、障がい者といった縦割りでなく、いろんな人が集まれる居場所、多世代交流の場が、さらに増えることを期待している。・「いちごサロン」では、シニア大での学びを活かし、自主的に企画・運営をしており、総合5か年計画の「学びと自治」と方向性が一致している。シニアの知識・経験を若い皆さんに伝承するような『学び』の場にもしていってほしい。 3 まとめ(知事からの発言) 「いちごサロン」の知名度が上がり、より多くの皆さんに来ていただけるよう、また、シニア大出身者を中心に、こうした社会参加活動が広がるよう期待している。ボランティアに依頼する際は、大きな方向性や目的を示してあとは自主性に任せるのがよいと思う。



